

苗場山麓 ジオパーク

Vol.
75

振興協議会だより

〔発行日〕 令和 7 年 10 月 28 日
〔発行〕 苗場山麓ジオパーク推進室
〔お問い合わせ〕 025-765-1600



日本ジオパーク全国大会・十勝岳大会へ参加しました

9 月 27 ～ 28 日、北海道美瑛町と上富良野町をエリアとする十勝岳ジオパークにて、日本ジオパークネットワーク全国大会・十勝岳大会が開催され、苗場山麓ジオパークは事務局 2 名で参加しました。

開会式では、新規認定された三好ジオパークと蔵王ジオパークの認定式が行われ、全国のジオパークは 48 地域となりました。続いて基調講演では、「宇宙創生から未来へ～これからの地球と私たち～」をテーマに、宇宙や星のでき方についてお話があり、星と人が構成される元素が同じであるということから、星と地球と人は繋がっていることを教えていただきました。このほか、様々な分科会や口頭発表、ポスターセッションが開催されました。地域の子どものたちのジオパーク学習の成果や高校生の発表が活発に行われていることも印象的でした。

ポスターセッションでは、苗場山麓ジオパークの教育活動 10 年間の成果を紹介させていただきました。また、全国各地のジオパークを支える皆さんと貴重な意見交換もさせていただきました。

2026 年は、桜島・錦江湾ジオパークで全国大会が開催されることが発表されました。全国大会は、交流、そして情報交換を行う大切な場です。ジオパークのネットワークづくりに貢献する中で、ガイドを含めた参加が重要であることを強く感じました。



分科会の様子



ポスター紹介



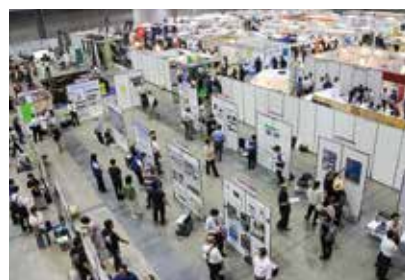
ぼうさいこくたい 2025 in 新潟で出展しました

9 月 6 ～ 7 日、新潟市の朱鷺メッセにおいて、ぼうさいこくたい 2025 in 新潟が開催され、苗場山麓ジオパーク振興協議会として参加してきました。ぼうさいこくたいは、内閣府が主催し、産学官民の関係者が日ごろから行っている防災活動の発表と交流を目的とした日本最大級のイベントで、2016 年度から開催されて今年 10 年目を数えます。苗場山麓ジオパークは、2021 年度の初参加から、今回で 5 回目の参加となりました。

朱鷺メッセの会場 1 階展示ホールを中心に、屋外展示もある大規模のイベントとなりました。出展も史上最多となり、出展数は、セッション 52、ワークショップ 21、ブース展示 178、パネル展示 134、屋外展示 64、オリジナル企画 6 ほかでした。苗場山麓ジオパークでは、防災教育をテーマに「長野県北部地震等の災害とその防災教育について」をタイトルに掲げ、パネル展示を行いました。

発表するパネルの内容は、2011 年 3 月 12 日に発生した長野県北部地震（東日本大震災の翌日）の震災に関わるもので、ジオサイトの保全、災害と歴史、地域住民や児童生徒への啓発と伝承について取り上げました。

2 日間を通じて 100 人以上のかたが苗場山麓ジオパークのパネルを見学されました。そこでは「防災の原点は教育である」ことに重点を置き、活動や取り組みについて紹介しました。また、ブース展示では、日本ジオパークネットワーク（JGN）から「大地の成り立ちから知る防災のヒント」、糸魚川フォッサマグナミュージアムから「焼山ってどんな火山？」の出展もあり、ジオパークと防災の結び付きについて再認識しました。



朱鷺メッセ会場 1 階



パネル紹介

第7回 苗場山麓ジオパーク研究コンクール

苗場山麓ジオパーク研究コンクールは、第7回を迎えました。津南町、栄村の小学校及び津南中等教育学校から28作品(含:グループ)の応募がありました。関わった児童生徒数は109人に上ります。

苗場山麓ジオパーク振興協議会会長賞は、津南中等教育学校第1学年82人の皆さんで、9班にわかれて、それぞれ思い思いに「巻紙」風に調べたことをまとめました。出前授業での苗場山麓ジオパークについての講話をもとに、後日、川の展望台や龍ヶ窪等の野外巡検を行い、その校外学習を活かして忠実に記録されていました。お客様に見てほしいという視点で工夫した点が素晴らしかったです。次に、副会長賞は、火焰型土器です。一見粘土でできているかのような錯覚を覚えました。素材は紙ですが、紙製とは思えない見事な出来栄でした。津南町教育長賞は、保育園児のときに空の展望台と龍ヶ窪を回り、当時の体験をまとめたもので、祖父と一緒に行ったこともほほえましい様子でレポートされていました。栄村教育長賞は、栄村から出土した土器をもとに、何年にもわたる丁寧な調査の記録です。栄村歴史文化館こらっせで、取材し、まとめられていました。推進室長賞は、独自の石図鑑です。中津川で拾った石を、自分が感じたことをもとに、自分なりの名前をつけていたところが素晴らしいです。ジオパーク賞は自分の住んでいる今泉の土地のすがたや川の流れるようすの模型をつくることで、わかりやすいものでした。紙面の都合で、特別賞3点について、講評を割愛いたしますが、次年度もたくさんの応募をお待ちしています。



作品展示の様子



津南中等教育学校1年生の作品

第7回 苗場山麓ジオパーク研究コンクール 審査結果

賞 名	研究題名	名 前	学校名	学年
苗場山麓ジオパーク振興協議会会長賞	苗場山麓ジオパーク探究学習レポート集	82名	津南中等教育学校	1
苗場山麓ジオパーク振興協議会副会長賞	火焰型土器	樋口 雄星	津南小学校	6
津南町教育長賞	空の展望台と龍ヶ窪について	本山 未遥	津南小学校	1
栄村教育長賞	縄文時代の栄村	山田 駿介	栄小学校	6
苗場山麓ジオパーク推進室長賞	石図かん	半戸 蓮太	芦ヶ崎小学校	2
苗場山麓ジオパーク賞	今泉の地形と水	杉浦 仁	栄小学校	5
苗場山麓ジオパーク特別賞	秋山郷巡り	八重沢 光	上郷小学校	6
苗場山麓ジオパーク特別賞	感動した中子の桜	涌井 新太	芦ヶ崎小学校	4
苗場山麓ジオパーク特別賞	探訪!! 今井城	桑原 龍禅	津南小学校	6

LNT (LEAVE NO TRACE) ワークショップ・子ども向け編

令和7年8月2日(土)、さかえ倶楽部スキー場を会場に、LNTワークショップを開催しました。

LNT (LEAVE NO TRACE) とは、自然へのダメージを最小限にするための7つの原則です。世界90か国で使われており、LNTの原則に従って行動することで、自然環境をはじめ、アウトドア活動における全ての対象に配慮した行動をとることができるということです。

今回のワークショップでは、14名が参加しクイズや体験を通してLNTを学びました。内容としては、スライドによるLNTの紹介、ごみが自然に還るまでかかる時間などをクイズ形式で行い、屋外でトイレや焚き火(マウンドファイヤー)のワークを行いました。

当日は暑さもほどほどに、屋外のワークも問題なく消化できました。自然環境にインパクトを残さないというLNTの考え方はジオパークともリンクする部分があるので、今後もLNTを取り上げていければよいと感じました。

ごみの種類	自然に還るまで要する時間
紙類	数週間
ビニール	20年～30年
スチール缶	50年
アルミ缶	80年
マスク	400～500年
ペットボトル	400年
炭	永久



たき火にチャレンジ

認定ジオガイド
が伝える

ここが好きだよジオパーク

認定ジオガイドがおすすめの場所、
もの、ことなどを紹介していきます。

南雲 義文さん



『いのちのやりとり』（ガイドナンバー 76 南雲 義文さん）

令和4年まで苗場山麓ジオパーク推進室で栄村の事務局として関わらせていただいた南雲と申します。ペーパーガイド(笑)として数年経ちますが、現在も栄村でお仕事をさせていただいております。現在は鳥獣対策の係として2年目を迎えますが、苗場山麓に住む私たちの環境は本当に野生生物の豊かさを改めて感じます。

業務では猟友会の方と関わることもあり、とあるハンターさんがこんなことを言っていました。「わしや、このような仕事(有害駆除)をしていれば、ボボ(子供)を背負ったサルだって撃つこともある、だから俺はいつ死んでもいいと思って命と向き合っているんだ。銃を抜いたからには、お互いの命を差し出している、そうでなきゃこのような仕事はできん。」新渡戸稲造著の『武士道』に通ずるハンターさんの琴線に触れることができました。また、捕獲されたクマの処理に立ち合う機会がありました。ついさっきまで、ドラム缶檻の中で激しく暴れていたクマが、綺麗に解体され、毛皮、骨、内臓など、それぞれが適切に処理される現場を見て、人間の営みの原点を想起させられました。便利になった現代ではスーパーに行けば、お金を払えば、綺麗に梱包されたBBQセットなるものを買うことができます。大変有難いことです。さりながら先史では人の体の何倍も大きいナウマンゾウ等の大型動物を追いかけて、仕留めて食べていたことを考えると、現代はさまざまなプロセスが省略されていることに気づかされます。当たり前のように食べている物は、実は当たり前ではなく、どこかで、誰かが、頑張っ



張って作ってくれています。それを売ってくれているから買うことができるだけのこと。命のやり取りの最前線にいる方々には本当に頭が下がります。

最近では、“ジビエ”という単語をよく見聞きします。フランス語でGibierと表され、狩猟によって捕獲できた野生鳥獣の食肉を意味します。私自身も何度かシカやイノシシの肉を頂いたこともあります。その背景にどんな物語があったのかを深く考える機会は今までありませんでしたが、命のやり取りに関わる機会をいただき自然界の有難さをひしひしと感じているところです。いただいた命を粗末にせず、次の世代に命のバトンを繋ぐことができているこの環境に感謝です。

【訂正とお詫びのお知らせ】

令和7年8月28日発行の振興協議会だより74号に掲載しました「ここが好きだよジオパーク」の記事につきまして、掲載写真「養蚕卵保管施設(昭和42年)」と記載しておりましたが、正しくは「養蚕卵保管施設(明治42年)」となりますので訂正させていただきます。

読者の皆様、及び関係者各位にご迷惑お掛けいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

お知らせ ※大勢で参加ください!!

- 11月 8日(土) 7:00～19:00 認定ガイドスキルアップ研修 浅間山北麓ジオパーク視察 集合：津南町役場
- 11月 15日(土) 9:00～12:00 苗場山麓ぐらり旅～中津地区～ 集合：農と縄文の体験実習館なじよもん
- 12月 19日(金) 18:30～20:00 苗場山麓ジオパーク基礎講座～地形・地質を楽しく学ぶ～ 会場：農と縄文の体験実習館なじよもん



津南町と栄村の小学校5年生が集まり校外学習を実施しました

2020年から、津南町と栄村の小学校の集合学習に苗場山麓ジオパークがお手伝いさせていただいています。活動内容は先生方と相談して決めています。

今年の活動内容は、外で遊ぶことの楽しさと同時に、危険性も学んでいただき、自分の身を守る、あるいはその場に遭遇した時に対処できるようにという想いから、防災（水難事故）をテーマとさせていただきました。

活動場所は石坂橋の下で行いました。活動班は各学校の児童が混ざっています。子どもたちには、実際に溺れている人を見つけた時、どうすればいいのかを考えてもらうために、先生に溺れている人を演じていただきました。

まずは警察に連絡することを伝え、決して自ら泳いで助けに行ってはいけないこと、助けに行った人も溺れる可能性があることを教え、次に、身の回りにあるものを使って助けるにはどうすればいいかを体験してもらいました。子どもたちには学校側とジオパーク事務局が用意した色々な道具を使って先生を助けてもらいました。子どもたちによって道具の使い方の工夫がそれぞれ変わっており、浮き輪に紐を結んだだけの班や、虫取り網の棒の先に結びつける道具も様々で、浮き輪を結びつけていた班、ビニール袋の中にクーラーボックスを入れて結びつけていた班と、色々と考えていました。ただ、ロープの長さが短く、先生の間所まで届かない班が多く見られ、微笑ましかったです。それでも、いくつかの班は先生を助け出すことに成功していました。

次に、ライフジャケットを着て川に入ってもらいパターンと着ないで入ってもらいパターンを実施し、ライフジャケット着用の有無による浮き沈みの違いを確認してもらいました。初めてジャケットを着る子がほとんどだったので、実際に浮くのか半信半疑な子もいましたが、実際に浮くことが分かれると何度も試していました。その後、川で遊ぶ時間を設け、そのままライフジャケットを着て遊ぶ子や、流れに逆らって泳ぐ子など楽しく遊ぶ子どもたちの姿がありました。

最後には、「また川で遊びたい。」「今日やったことを親に教えてあげたい。」などの感想が聞けました。

今後、子どもたちが水難事故の場面に遭遇しないことを願うばかりですが、今回の集合学習の体験を通じて、災害時に活かせる知恵として、思い出の一つとなれば幸いです。

来年度も地域の自然や文化にふれたり、こどもたちが交流しながら学べる機会のお手伝いができるように、ジオパーク事務局で協力したいと思います。



津南町埋蔵文化財センターがオープンしました

令和7年10月18日(土) オープン
津南町埋蔵文化財センター

うもれあ 
umorea

〒949-8311
新潟県中魚沼郡津南町大字中深見甲2348
TEL 025-755-7011

入館料 無料

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 4/1～11/30:月曜日(祝日の場合は翌平日)
12/1～3/31:土・日曜日、祝日
年末年始

駐車場 普通車26台・大型バス3台



ぜひご来館
ください!



長野県立美術館で企画展を開催します ※観覧無料

令和7年12月6日(土)～12月15日(月) 9時～17時

会場:長野県立美術館しなのギャラリー

〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4

雪のふるさと、心のふるさと 苗場山麓ジオパーク 10年の歩み

～写真と絵画でみる秋山郷の風景～



・苗場山麓ジオパーク紹介展示

・10年の歩みとフォトコンテスト最優秀賞作品を展示

・飯塚英春氏

・瞬間(とき)の移ろい

【天空の楽園 苗場山・秘境 秋山郷マタギの里】

～いつまでも心に残る、そして残しておきたい映像～ 写真作品86点

・早津剛氏

雪国の茅葺民家がある風景

苗場山麓の原風景である茅葺民家の絵画作品 約10点

